

報 会

1974

1 月

(第7号)

財団法人 京都市文化観光資源保護財団

〒606 京都市左京区岡崎最勝寺町

京都館内

(電)京都 (075) 761-0020

賀 正

財団法人
京都市文化観光資源保護財団

会長(京都市長)

北橋 水二

理事長

佐伯 勇



お松明式

「お松明式」

お松明式は、古くは「嵯峨のはしら松明」とも呼ばれ、毎年三月十五日の涅槃会の夜、清凉寺(嵯峨釈迦堂)で行なわれ、今年の稲の出来を占う京都の年中行事の一つである。

松明は、高さ約七メートル余り、竹、松、杉の枯枝などを漏斗形に組んだもので、三本つくられる。

これを本堂前に建て、僧侶たちが大松明の周囲を誦経しながら三周したのち点火する。

点火は、火のついたわら束を竹竿の先につけて、大松明の上から落とすと枯葉にもえつき三本の大火柱となる。

この三松明は、早稲、中稲、晩稲にたとえ、そのもえ方で、その年の稲作を占うものである。

〈京の年中行事より〉

一月 4 蹴鞠始め(午後二時)

下鴨神社

5 新年寛宴祭(午後三時)

上賀茂神社

5 大山祭(正午)

伏見稻荷大社

10 十日えびす(午後二時)

恵美須神社

14 裸踊り(午後七時)

法界寺

15 通し矢(午前八時)

三十三間堂

15 七福神めぐり(午前九時)

泉涌寺

二月 2 節分会

市内各社寺

4~ 吉田神社、壬生寺、千本

釈迦堂、廣山寺、六波羅

23 五大力尊仁王会(午前十時)

醍醐寺

24 さんやれ祭(正午)

上賀茂神社

25 梅花祭(午前十時)

北野天満宮

三月 14~16 東福寺涅槃会

東福寺

14~16 泉涌寺涅槃会

泉涌寺

15 お松明式

(お松明式は 午後七時)

(点火は 午後八時)

清凉寺

ご協力ありがとうございました

ごさいました

寄附者芳名録(敬称略)

(自昭和四十八・十二
至昭和四十八・十二)※印は追加寄附をいただいて
累計額が増加した芳名

会社法人及び団体の部

〔特別会員〕

△五十五万円▽

※大松幡

△五百万円▽

※西本願寺・住友生命保険(相)

〔普通会員〕

△三十万円▽

大雲院

個人の部

〔特別会員〕

△三十万円▽

※伊砂利彦・※村上道枝

〔普通会員〕

△七万円▽

※竹村實

△三万三千元▽

※別所閑山

△三万円▽

※井上嘉久

△二万七千五百円▽

※赤堀和通

△二万二千元▽

※福井忠明

△二万円▽

※中路重左衛門

〔賛助員〕

山本和彦・※西村弥五郎・※堀哲夫

・※今井栄一・※左近真二・※左近

・※田村芳子・※渡辺千代・※丸山末棹

・※田村芳子・※井上哲夫・※田中正

男・※佐野綾子・※井田喜知郎・※

後藤齊・※沢田浅子

大徳寺本坊とその塔頭

(聚光院 孤篷庵)

の特別参観終了

大徳寺本坊とその塔頭の特別参観
は九月二十二日(土) 五十六名の参
加者のもとで行なわれた。大徳寺本坊
では江戸初期
の枯山水庭園
を、聚光院で
は利休好みの
茶室閑隠席
を、孤篷庵で
は茶室忘室・
庭園などそれぞれ貴重な文化財を鑑
賞し、盛況のうちに第六回特別参観
を終了した。

募 金 状 況

(昭和48年11月30日現在)

寄附申出件数	2,848件	寄附申出金額	990,230,735円
寄附受納件数	2,846件	寄附受納金額	931,360,735円

上 記 内 訳

* 地 元			
寄附申出件数	2,683件	寄附申出金額	279,357,594円
寄附受納件数	2,681件	寄附受納金額	278,487,594円
* 関 西			
寄附申出件数	80件	寄附申出金額	435,228,500円
寄附受納件数	80件	寄附受納金額	405,228,500円
* 関 東			
寄附申出件数	85件	寄附申出金額	275,644,641円
寄附受納件数	85件	寄附受納金額	247,644,641円

社寺関係の協力状況

寄附申出件数	39件	寄附申出金額	82,220,000円
寄附受納件数	39件	寄附受納金額	64,670,000円

第7回特別参観ご案内

妙蓮寺・大聖寺

「襖絵をたづねて」のテーマで、妙蓮寺・大聖寺の特別参観を行います。今回は妙蓮寺の本堂玄関と客殿の襖絵(重文)をはじめ、大聖寺の書院障壁画など一般に公開されていない寺院の文化財を特別に拝観しますので、是非ご参加下さい。

◇参観日時 昭和49年3月9日(土)午後2時(参観時間約2時間)

◇対象者 財団募金協力者(会員)とその家族(定員30名)

◇申込方法 往復ハガキ一人一枚に住所・氏名・年令を記入

◇申込先 妙蓮寺(〒600京都市左京区岡崎) 大聖寺(〒600京都市左京区岡崎)

◇文化観光資源保護財団(電話二〇七六六一〇〇二〇〇円(当日受付で徴収))

《朱雀 大路》

○記録映画「久多の花笠踊」が完成

京都市の最北端、久多に古くから伝わる花笠踊は、室町時代の風流踊の名残りをとどめる貴重な民俗芸能であるが、近年、過疎化などによってその伝承が危ぶまれている。

このため、本市では、このような「久多の花笠踊」を長く後世に伝えるため、京都市文化事業基金をもって制作をすすめていたが、このたび十六ミリカラー、十五分ものとして完成した。

○京都市自治七十五周年記念事業盛況裡に終る

さる十月から十一月にかけて、京都市並びに当財団が、京都市自治七十五周年と文化財保護啓蒙のため行なったつぎの事業は、いずれも盛況裡に終了した。

◇修学院離宮特別参観

十月十五日から二十日まで行なわれ、期間中、市民を中心に約六千名の参加があり、秋の修学院離宮を満喫した。

◇郷土芸能の夕

十月二十七日、京都館第二ホールにおいて行なわれ、約千名が、六斎念仏踊、上賀茂やすらい踊、松ヶ崎さしおどり、維新鼓笛隊、わらべうたなど郷土芸能のすばらしさを楽しんだ。

◇講演の夕

十一月二日、京都館会議場において、文化財保護強調週間行事として行なわれ、約五百十人が、杉山信三近畿大学教授の「平安京とその周辺」並びに西川幸治京都大学助教授の「近世京都のまちづくり」の講演を熱心に聞いた。

編 集 後 記

行なわれることが望まれます。

千年のながきにわたって蓄積され、形成されてきた京都の文化遺産、歴史的環境は、いま、「クルマ公害」や急激な開発のため、きびしい危機にさらされています。

一方、本年からいよいよ高速鉄道鳥丸線の建設工事が行なわれようとしてます。

この工事が行なわれる鳥丸通は、平安京鳥丸小路の邸宅や平安京の条坊、鳥羽離宮など数多くの貴重な文化遺産が地下に埋蔵されていること知られております。

したがって、京都のまちづくりの土台となった平安京を解明する重要な手がかりを得るためにも、できる限り十分な埋蔵文化財の発掘調査が

本年、設立五年目をむかえる当財団が、今後とも、京都の文化遺産を守る大きな柱として、さらに充実、発展するよう皆さま方の一層のご支援をお願い申し上げます。なお、住所変更等がございましたら、一報下さるようお願いいたします。